

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成22年度

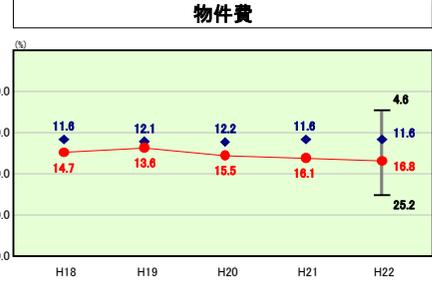
愛知県飛島村

経常収支比率の分析

人口	4,526 人 (H23.3.31現在)	実収支	赤字	比率	- %
面積	22.53 km ²	実収支	赤字	比率	- %
歳入	5,323,347 千円	実収支	赤字	比率	2.8 %
歳出	4,950,931 千円	実収支	赤字	比率	- %
実収支	262,000 千円	実収支	赤字	比率	- %
標準財政規模	4,253,761 千円	市町村類型	H18 I-2 H19 I-2 H20 I-2 H21 I-2 H22 I-2		
地方債現在高	611,277 千円				



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



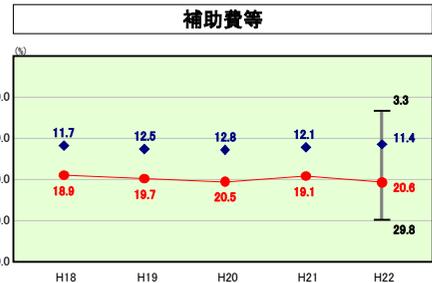
物件費の分析欄

物件費に係る経常収支比率が高くなっているのは、委託料が大きく上回っています。これは業務の民間委託や各施設の維持管理委託等によるものと考えられますが、事務事業評価を通じて事業の見直しを行ってまいります。しかしながら公共施設等の老朽化により、維持管理の経費が増加傾向にありますが施設の延命化を図り必要性を見定めながらコスト削減に努めます。



人件費の分析欄

平成22年度において18.8%と類似団体平均と比べて低い水準にあるのは、一般廃棄物処理業務や消防業務等を一部事務組合で行っているため、従来から低い数値で推移していますが、一部事務組合の人件費分に充てる負担金を加えた人件費に準ずる費用の人口1人当たりの歳出決算額は類似団体平均を上回っており、さらなる人件費の削減に努めます。



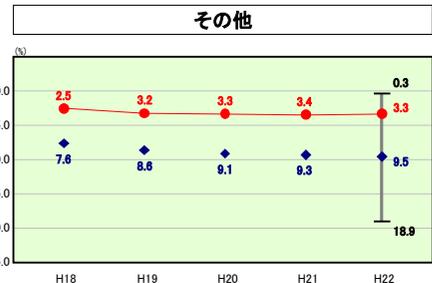
補助費等の分析欄

類似団体平均を上回っているのは、一般廃棄物処理業務や消防業務等を一部事務組合で行っていることから一部事務組合負担金が類似団体平均の人口1人当たり決算額を見ても多くなっており、また、各種団体への補助金が多額となっているからであり、不適当な補助金の見直しに努めます。



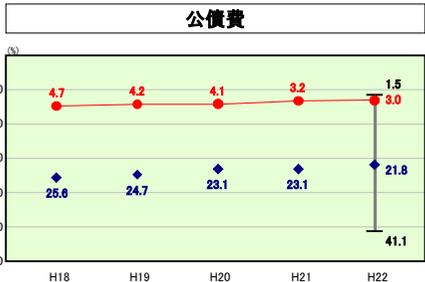
扶助費の分析欄

前年度に対して比率が増えたのは、子ども手当の支出が増加したためであるが、類似団体と比べても適正な割合であることから、今後も過大な見積とらないように、精査の上で予算を編成してまいります。



その他の分析欄

その他に係る経常収支比率は、大部分が繰入金によるもので、その中でも国民健康保険特別会計への赤字補填的な繰入金が多額になっています。



公債費の分析欄

近年新発債を抑制してきたことから、類似団体と比べても相当程度低い数値で推移しています。また下水道事業や一部事務組合の繰入金等を含めた公債費に準ずる費用の人口1人当たりの歳出決算額についても類似団体平均を下回っており、今後も新発債をできる限り抑制し、将来世代の負担を軽減してまいります。



公債費以外の分析欄

公債費以外の経常収支比率では、概ね類似団体平均と同等であり、今後の財政運営においても更なる経常経費の削減に努めます。